

関西サイエンス・フォーラム地震予知研究公開講演会

—ここまで来た測地衛星(GNSS)を用いた地震発生直前の異常抽出と未曾有の被害となったトルコ地震の全容—

(趣旨)

地震学が誕生して以来、大地震の予知は科学の大きな夢でした。阪神大震災、東日本大震災等を経験して、大地震の直前予知が国民の悲願となっています。将来発生が予想される南海トラフ巨大地震については、直前予知が実現すればより多くの人命を救う事が可能となります。

これまで地震予知については、予知不可能論も喧伝され、冷ややかな状況にありました。しかし、東日本大震災をきっかけに、直前の地震前兆現象の存在が確認されました。今回の講演会では、測地衛星(GNSS)を活用した大地震直前の物理現象(特に電離圏)の異常について紹介します。

さらに今年2月6日に発生したトルコ・シリア地震の概要、特徴を紹介し、この地震による各地の揺れと建物の被害、橋梁・鉄道の被害、地表地震断層とそれによる被害状況について解説します。これらの被害に対する直後の対応や復旧・避難・仮設住宅の対応の様子もお示しする予定です。これらのことから、日本で学ぶべき教訓についても考えてみたいと思います。

◇開催日： 令和5年12月5日(火) 13:00~16:00

◇会場：大阪大学中之島センター10階、佐治敬三メモリアルホール(大阪市北区中之島4-3-53)

◇参加：現地開催およびZoom併用

◇主催：関西サイエンス・フォーラム、大阪国際フォーラム

◇共催：(一社)日本地震予知学会

◇後援：(公財)関西・大阪21世紀協会、(一財)大阪科学技術センター

(プログラム)

総合司会 長尾年恭(日本地震予知学会 会長)

1. 開会挨拶 秋山喜久(関西サイエンス・フォーラム 会長)

2. 萩尾さんの功績

ビデオレター 尾池和夫(静岡県立大学理事長) (予定)

3. 招待講演 梅野 健(京都大学 教授)

大地震発生直前の異変を確実に捉える —その日までに、そして直前の

1時間に我々は何ができるか?—

4. 招待講演 森 伸一郎(愛媛大学 特任教授)

2023年トルコ・カフラマンマラシュ地震による被害と対応および日本が学ぶべき教訓

5. 講演 長尾年恭(日本地震予知学会 会長)

関西サイエンス・フォーラムが地震予知研究に果たしてきた役割と今後の地震予知研究

地震予知研究公開講演会 申込み

【照会・申込先】

TEL 06-6444-3777 FAX 06-6441-1030

e-mail ksf@kansaidoyukai.or.jp 吉田・辻 宛お願いします。

~~~~~  
お名前：

所属：

役職名：

電話：

e-mail：

その他：

(非開示個人情報扱い)